





# 東海道歴史街道まち歩き講座

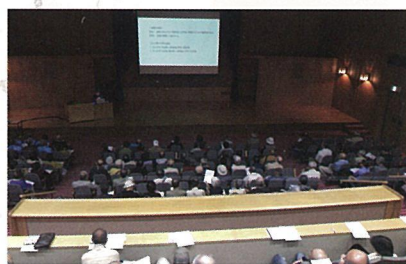


講座参加者募集チラシ 右:第1回募集・左:第2回募集

## 第1回

演題 高部の北街道と  
庵原山辺の道

- フィールドワークA テーマ いははらの郷
- フィールドワークB テーマ 北街道



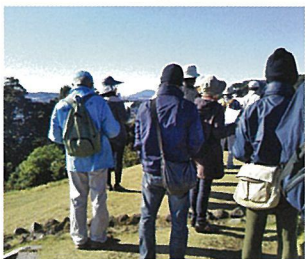
昨年度に続き、第2弾として「しみず古道めぐり」をテーマに、静岡市と共催、清水郷土史研究会、ぶんかさろんしみず、フェルケール博物館の後援、鈴木株式会社との協賛をいただき、開催しました。

第1回の講演会は、11月5日(日)に開催しました。およそ200名の来場者を迎え、地元でおなじみの歴史家・渡辺康弘先生に「高部の北街道と庵原山辺の道」と題して、講演していただきました。日頃私たちが呼んでいる通称「北街道」や「庵原」は、近年目覚ましく様変わりをしていきますが、その地には江戸時代以前の「みち」や「まち」の姿が今も残されている、ということを知ることができました。

講演を聞くことのみならずフィールドワークを実施し、現地に足を運んで確かめ、知ることができました。

フィールドワークAは、11月19日(日)に開催し、ナショナルトレッキングセンターをスタートして、「いははらの郷」を散策しました。フィールドワークBは、12月6日(水)に開催し、矢倉神社をスタートして、梶原景時が祀られている高源寺など、飯田・高部地区の「北街道」を散策しました。

いずれも開発されてゆく街なか



フィールドワークA



フィールドワークB

そして、今年度の講座は、

いづれも開発されてゆく街なか

いづれも開発されてゆく街なか



第2回の講演会は、1月28日(日)に開催しました。今回は、清水郷土史研究会で活躍している、北村欽哉先生に「徳川家康の清水区における新街道構想―東海道・久能道・うし道・志う道」と題して講演していただきます。実は北村先生は、この

地元本町に生まれて、その地で70余年生活をされ、路地の裏まで知りつくしておられます。講演では、日頃見過ごしてしまいがちなところまで着目し、家康公が「清水湊」をいかに活かし発展させようとしていたのかを伺うことができました。

特に「うし道」については、清水のまちの中心を流れる巴川が水運業にかなり利用されていたとの説が一般的ですが、実際には京都にみられる牛車



フィールドワークA



フィールドワークB

を導入し活用されていたことには、大変興味を持ちました。



フィールドワークAは、2月10日(土)に開催し、静鉄電車狐ヶ崎駅から、追分、ちゃんちゃん井戸を経由し、「清水湊への古道」を散策しました。フィールドワークBは、3月10日(土)に開催し、清水港より船にて、三保真崎へ移動し、「三保の古道」を散策しました。

いずれのコースにも、江戸時代以前の古道や痕跡がまだまだ残されていることが確認でき、その保存と伝承の大切さも、確認することができました。来年度は蒲原・由比・身延路・興津について、引き続き開催していく予定です。

COLUMN  
 コラム

「英語ガイド活動について」



近年、清水港には多くの外国客船が寄港するようになりました。乗客の中には、清水港周辺の散策を楽しむ人が増えています。

外国船ガイドチームでは、この方たちを対象に近隣の歴史施設、神社、寺院等を英語でガイドができるよう勉強会を開催しており、清水港船宿記念館「末廣」でテスト的に

定点ガイドを行っています。外国から来ていただいたお客様に、日本の国と、清水の素晴らしさを伝えたい、という想いでスタートしました。

「末廣」でのガイド活動へのお客様の反応は好評で、「すごく良かった！フレンドリーで良かったです！」との言葉をいただいています。チームのメン



クルーズ船「飛鳥II」



勉強会の様子

バーは様々で、高校生、大学生、主婦、シニアの方、現役の方、中には親子、孫と一緒に参加している方もいて、楽しく活動しています。英語のレベルは問いません。誰にでも英語ガイドができるよう、研究しています。日本の歴史、文化を学びたい！今勉強している英語をどこかで使ってみたい！外国から来ていらっしゃるお客様に良い思い出を作ってもらいたい！このような「おもてなし」の精神で活動しています。



# 静岡シチズンカレッジ ここに「観光ボランティアガイド養成講座」

平成二十九年九月九日(土)、十月七日(土)

## 【蒲原】

蒲原の宿場は歴史的に見ても古く、古屋敷のことを除いて歴史を語ることは出来ません。1699年に襲った大津波により、宿場全部が今の場所に移転しました。今でも本陣跡・旅籠跡・志田邸・旧五十嵐歯科医院等の、古い建物が残っています。山部赤人の『田子の浦に打ち出でてみれば』は、実は蒲原で詠まれた歌であることを紹介しました。

## 【由比】

由比の人は、向こう三軒両隣となつて情に厚く、由比の語源である「交わる・結ぶ・束ねる」を実感出来る所です。由比は交通の要衝ですが、歴史に現れない所で古墳や伝説が残っています。薩埵峠の周辺の景観、神社の謂れや祭りの行事、特産の桜えび料理などが有名であることを紹介しました。

## 【興津】

風光明媚・気候温暖な興津には、

多くの人々が別荘を構え逗留しました。その代表的な人西園寺公望公が建てた別荘「坐漁荘」を復元したものが興津にあることを紹介。古刹「清見寺」の話では、所蔵している朝鮮通信使に関する資料が、ユネスコ記憶遺産に登録されたことを紹介しました。

## 【江尻】

清水の歴史・文化を語る時、江尻宿と清水湊を切り離すことは出来ず、両方の歴史・文化に関わった巴川の役割も重要であったことを説明。また、今川家・武田家・徳川家が清水の発展に深く関わり、今日も三家が残した遺産を語る事が出来ることは二市民として誇りに思うと共に、後世に語り継ぐ必要があることも説明しました。

## 【三保】

三保といえはまず、羽衣の松・神の道・御穂神社という富士山世界

遺産セットが有名ですので、その根拠となった芸術の源泉を交えながら3ヶ所を詳しく説明。またこの地の歴史もご理解頂きたく、三保半島の成り立ちから近年の地形の変化、それに伴う人々の暮しや、隠れた名所旧跡なども紹介しました。

## 【庵原】

三池平古墳の後円墳丘から、庵原平野を見渡すと、南に神明山古墳、西に午王堂山古墳があり、それらを合わせて「古墳のトライアングル地域」と考えます。そこに最近、弥生時代の水田跡が発見されました。庵原地域には、古代の人々の生活の豊かさを伝える数多くの史跡があり、「いははらの郷」と案内しています。



会員  
大募集中!!

清水区観光ボランティアガイドの会では、  
現在会員を募集中です!!  
少しでも地域の歴史や文化に興味のある方は、  
ぜひ、お気軽にご連絡ください。  
一緒に清水を盛り上げましょう!!

清水区観光ボランティアガイドの会 会長 平井 隆而

所在地:〒424-0943 静岡市清水区港町2-1-1 静岡市清水市民活動センター内  
電話・FAX:054-351-0211(※事務所にいる日は不定期です。あらかじめご了承ください。)  
メール:svg20160912@yahoo.co.jp

連絡先